

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2013年6月1日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 安心して、子育てできる北海道に！

新婦人・「国際子どもデー」札幌アクション 親子パレード・知事要請



5月31日、新日本婦人の会が、「国際子どもデー（6/1）」に合わせて、「子ども医療費無料化を！中学卒業まで拡充を」「原発再稼働NO！子どもたちを放射能から守ろう！」「ストップTPP！子どもたちに安心・安全な食べものを！」などの要求を掲げて、道庁周辺を80人の親子でパレードし、高橋はるみ北海道知事に申し入れをしました。

高橋知事には、要望書とともに、全道各地から集まった「私は言いたい！」カード・約90枚（写真）も手渡しました。



「耳鼻科に毎月小2と幼稚園年長の子を通院させています。軽く3000円程かかります。長い通院が必要な病気なので是非、

子どもの医療費無料化を中学卒業まで拡充を心から望みます」など

### おかあさん3人が代表して、子ども医療費制度拡充、泊原発は廃炉に、TPP参加やめてなど、訴え

高橋知事への要請では、3人のおかあさんが代表して訴えました。

■4人の子どものおかあさん「流行性の病気は4人とも罹ることもあり1万5千円かかったこともあります。親は受診を我慢できますが子はそうはいきません。せめて義務教育・中学まで無料にしてください」

■「3.11事故以降、内部被ばくが心配で食物に気を使っています。泊原発が稼働しなくても、夏も冬も電気は止まりませんでした。史上最大に事故を経験し、安全を強調しても自然の驚異の前に無力ではないでしょうか。これ以上高レベル放射性廃棄物を増やしてはいけません。泊原発は廃炉にすることが、私達大人の責任ではないでしょうか」

■「TPPは深刻で重要な問題ですが、国民はほとんどその中身を知っていません。学校給食は、今、地産地消をすすめています、それでもなくなる可能性もあります。また商品表示がなくなると、安全な食べ物を選ぶことができません。一部の富裕層やアメリカ企業の利益のために、国民の命を脅かすことはしないで下さい。これまで以上にオール北海道で参加阻止の取り組みをしてください」



#### 北海道の子ども医療費 市町村には独自制度あります

年齢	外 来		入 院	
	所得制限	非課税	非課税	非課税
3歳未満	無料（*）	無料（*）	無料	無料
就学前	1割●	無料（*）	1割●	無料
小学生	3割	3割	1割●	無料
中学生	3割	3割	3割	3割

（\*）初診時一部負担金あり  
● 月の負担上限額あり

当日は、会員でもある真下紀子道議も行動に参加し、改善を要請しました。道の担当者は「お子さんを抱えてのパレードお疲れさまでした。女性の生活目線で、子どもたち、ご家族の幸せをしっかりと考えてご意見をいってきていただいていることに感動させていただきました。時代を担う子どもたちが安心して暮らせること、安心して子育てできる環境づくりに努めなければならないことはみなさんと同じ思いです。必要な対応をしっかりやっていきたい」と話しました。

明日2日 午前「さようなら原発北海道集会」 午後「障害者の差別禁止法の学習会」です。

#### 「さようなら原発 北海道集会」

集会 10時30分～ ニューオータニ札幌（北2西1）  
デモ 11時45分 スタート

#### 「障害者の差別禁止法の学習会」

14時～ 札幌市視聴覚障がい者情報センター  
（中央区大通西19丁目）